

* 必読 * 日本人ボランティア団体かるみあ

コスコブだけにとどまらずグリニッチ全域に住む日本人のボランティア団体があります。名称のかるみあ灯というのはコネティカットの州花 徒 almia からきています。日本人人口の増加に伴い、地元住民との人種軋轢を解消する目的で設立されました。”

2007年まではコスコブ小学校の日本人家庭は全員加盟が義務づけられていましたが、2008年より希望者個人登録となっています。

背景：

日本人家庭の多くが学校のESLやタウンの大人向けESLのお世話になっています。また、学校のクラス内では英語のできない子供を指導するために先生方が余分な時間を割いたり努力をしてくださっていますので、ESLの生徒は個別指導児童として見なすべきだと言う意見も出ています。そしてこのプログラムの為にはタウンの莫大な税金が使われているのです。

もともとESLプログラムはアメリカに居住し将来的にアメリカで仕事を得るのに必要な英語力を養うこと、自由競争において平等な権利を与えるということが目的ですからアメリカで仕事をして税金を払い投資に報いることが想定されています。

数年で日本に帰ってしまう日本人の子供たち・駐在員妻は貢献することなく恩恵だけ受けていなくなってしまうというのが実情です。かるみあ活動のおかげで現在では軋轢がかなり解消されましたが、こうした地元民の感情があることもふまえて是非活動にご協力ください。

具体的な活動内容に関しては下記ホームページをご覧ください。ホームページにはグリニッチでの生活情報なども満載されています。登録方法に関してはかるみあ委員（同じ学校に委員がいればお問い合わせください）に連絡をとってください。

www.geocities.jp/karumia